

平成25年度提案

提案番号	13-024	提案年月日	平成26年3月10日	受付年月日	平成26年3月11日	提案者	グループ	区分	アイデア
------	--------	-------	------------	-------	------------	-----	------	----	------

提案件名	職員提案審査委員会の有効活用	提案の要件	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input checked="" type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの
------	----------------	-------	--

現状及び問題点	提案の内容	期待される効果
<p>職員の市政運営への参加意識を高めるために「職員提案強化月間」などを行うのは、提案が少なく、数多くの提案をしてもらいたいからだと考える。</p> <p>問題点 委員が、行政改革係がお願いしてなった方もいる可能性があることは認識している。 ※現在の委員等の検討しての意見を見ても、委員自身も経験や知識が乏しく、業務改善（職場・市民サービスの向上意欲）が必要と感じるため、必要と考える</p>	<p>職員提案審査委員会のメンバーは、数多くの提案を見ることにより、より有効な提案ができたり、自分ならこうするのにという意見があると考えられる。</p> <p>委員会のメンバーを数班に分けて、各班単位で年間数件の提案や自主研究制度の利用促進を行う。</p>	<p>強化月間以外の提案の増加、1～2年で委員を交代することにより、委員経験者の増加を図ることにより、知識・経験の向上がはかれる。</p>

関係課意見

【財政課行革推進係】

職員提案制度につきましては、平成24年度に見直しを行い、要綱等の整備を経て、平成24年10月から、従来からの運用方法を変更して実施しているものです。見直しの柱の一つに、提案内容を一職員として、客観的な判断を行っていただくことを目的に、各部署からの職員で構成する「職員提案審査委員会」を設けました。

平成24年度（10月～）の半年間で14件の提案をいただきましたが、庁議での採否決定を行った中で、「提案内容が審査委員会にちゃんと伝わっておらず、不本意な判断となった。」との声がありました。そこで、平成25年度からは、下記のように運用方法の変更を行いました。

- ①提案内容について、審査委員会全体（全員）の評価の前に、審査委員から意見を聴取する。
- ②審査会の意見を提案者に返す。
- ③提案者は、その意見により「提案の表現方法の変更」「内容のグレードアップ」などを必要と感じた時は、提案内容の修正を事務局に申し出る。
また、提案書（紙ベース）だけで、内容が伝わらないと感じた場合は、プレゼン審査を申し出る。
- ④その後、審査委員会の評価を実施する。

審査委員会委員が、提案者の提案内容の意図を汲めるよう運用方法変更したのですが、運用実績に乏しく、この運用方法が有効なのか、未だ判断が出来ない段階です。

今回の強化月間で提出された提案（約35件）の審査を通し、提案者の意見（班構成での勉強会によるスキルアップ）も踏まえながら、通常業務外で当該審査をしていただいている審査委員に負担が少なく、かつ、制度の有効な運用を探ってまいりますので、ご理解いただければと思います。

職員提案審査委員会

点数 21 / 35点

採用	どちらでもない	否採用
<p data-bbox="188 341 412 379">4人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●委員によって、それぞれ得意分野と知識が乏しい分野があると思うので、各委員で審査するには限界を感じています。委員会のメンバーを班分けし、班ごとに審査をしたり、さらには自主研究をするという意見には賛成ですが、委員の負担にならない方法を考える必要があります。 ●担当係である行革推進係の意向に沿うのであれば、試行的であっても実行すればよいと思う。提案、カイゼン制度については職員の中でも期待が大きかった部分があるので、業務改善と人材育成の両面からも積極的に推進してほしい。 	<p data-bbox="826 341 1050 379">7人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●委員会への自主的な参加が一番望ましいと思うが、そういう意識を持たせる手段が委員会へ参加させることかどうか疑問である。 ●委員会のメンバーの力不足で、よい審議ができていないことは反省いたします。委員会を上げていくことは重要ですので、今後の審査委員会の立ち位置を主管課と協議して決定していくことが必要と考えます。 ●職員からの提案が、もっと採用されるようになる、もっと提案がでると思います。とりあえず提案があるときは、一度チャレンジしてみるくらいのつもりで、結果が出ないときには止めればいくらかの雰囲気にしてほしい。 ●新たに自主研究制度等を設けなくても、自主的に提案すればいいと思います。 ●審査委員を探すのは大変であるが、幅広い意見を集めることができ、良いと思う。委員の知識不足は否めない。 ●班に分けて活動すると業務以外のことになり、メンバーになってくれるかどうか？ 	<p data-bbox="1464 341 1688 379">3人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●職員の参加意識を高めることは大切ですが、数を沢山出せばいいというものではないと思います。また、具体的にどう有効活用するのか、提案者側の意見なのか審査側なのか提案内容から読み取れませんでした。具体的な内容提案をお願いします。